



MiniCity-SAGAMIHARA Program
緑区のこどものまち
ミニさがみはら
2017

こどものチカラ、しんじよう！

主催 / スマイル ミニシティ プロジェクト

共催 / 相模原市立男女共同参画推進センター（ソレイユさがみ）

後援 / 相模原市 相模原市教育委員会 相模原市小中学校 PTA 連絡協議会 特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら

協力 / ガリケンデザイン 相模原市役所有志のみなさん 相模女子大学公認団体 相模大野のこどものまち実行委員会 こどものまちプロジェクト委員会 有志のみなさん

Voyage to

こども青少年の地域社会参画を目的として2010年よりはじまる。

『相模原のこども青少年がつくるまち ミニシティさがみはら』

◆緑区のこどものまち「ミニさがみはら」

◆相模大野（南区）のこどものまち「エンジョイ スマイルさがみ」

※緑区のこどものまち2017で7年目15回目の開催。

2010年～2013年。

相模原のこどものまち「ミニシティさがみはら」

相模原市立 麻溝公民館で開催。



2012年～2016年

田名（中央区）のこどもがつくるまち「たなっちょタウン」

相模原市立 田名こどもセンター、たなっちょタウンベースで開催。



2013年～。

相模大野（南区）のこどものまち「エンジョイ スマイルさがみ」

相模女子大学マーガレットホール全館、相模原市立ユニコムプラザさがみはら全館で開催。



2014年～。

相模原のこどものまちのメトロポリタン！

緑区（橋本地区）のこどものまち「ミニさがみはら」

相模原市立男女共同参画推進センターソレイユさがみ全館＆橋本公民館大会議室で開催。

こどもたちが自分の意志で参加出来るように小さな単位で開催するこどものまちが理想です。

それが Minicity-SAGAMIHARA Proglam.

インクルーシブ教育を取り入れた全国初のミニシティ。

それが、相模原のこどものまちの目的であり、目標です。

こども青少年が、自立し、いきいきと行動出来る「まち」を目指して！

OFFICIAL SITE → <http://minisagamihara.info/smp/>

Twitter → https://twitter.com/Ayane_minicity

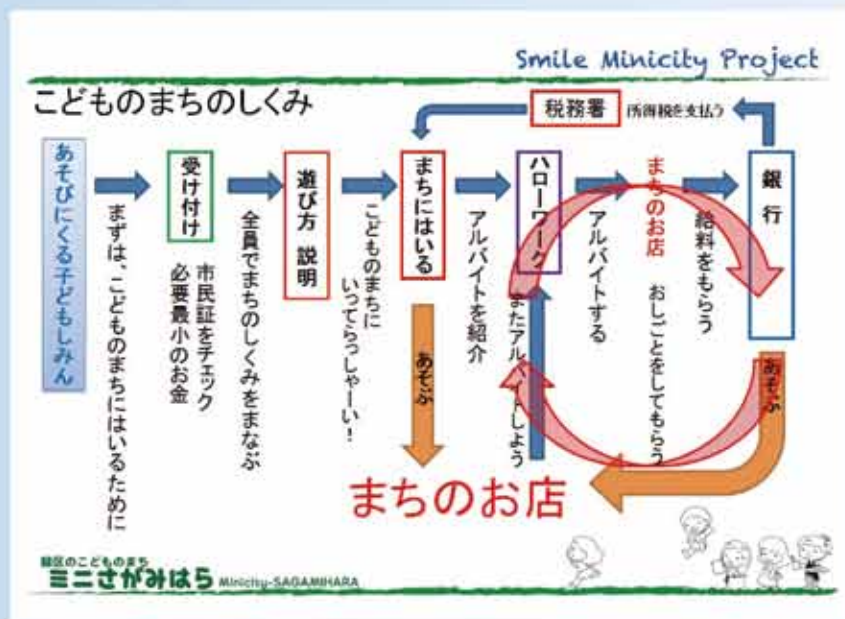
OFFICIAL FACEBOOK → <https://www.facebook.com/s.minicity.p/>



相模原のこどものまち初代スタッフたち

the future

Minicity-SAGAMIHARA Program



30分働くと300ミドルの給料

そこから200ミドルの所得税

お店は14時時点の売上げの50%の法人税

まちの物価は10~200ミドル

まちの基本の仕組みは、
こども議会で決まります。
こどもたちのやりたいものができるまち。

決して大人が決めてしまうことはありません。
主体は「こども」なのです。

相模原のこどものまち仕組み



緑区のこどものまちの通貨は「ミドル」
デザインは2017年度のもの



10ミドル札



50ミドル札



100ミドル札

スマイル ミニシティ プロジェクトの最高議決機関

「こども運営委員議会」を開き、企画内容やまちの仕組みなどについて話し合われた。決定した内容はこども市長や議員を中心に実現へ向けて大人スタッフと一緒に準備や計画を進める。こども市長を中心にこども運営委員で2回のこども店長会議をすすめ、担当分けや価格、連携しあう内容（サービス券や割引など）を考え、緑区のこどものまちの形を決定する。

当日参加する「こども市民」を募集し、市民証を郵送する。

前日、会場にまちをつくるための準備等を行う。

そして、イベント当日へとすすむー

イベント当日はまちの代表者を選ぶ「市長選挙」や

まちでの課題をこども市長へ伝える「市長への手紙」を市民に書いてもらい来年度のまちへと活かす。

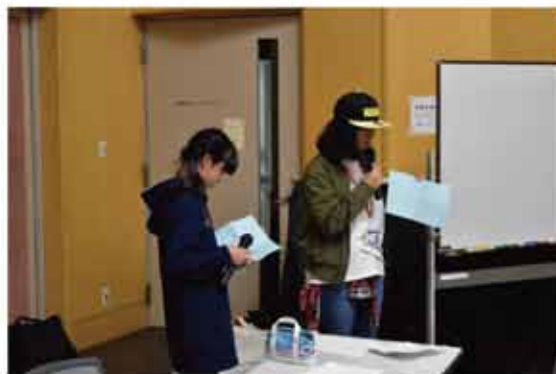
こども店長会議

会場：相模原市立 橋本公民館

2017年11月12日(日)13時～17時
11月19日(日)13時～17時



緑区のこども市長の司会で会議が進行します。



企画会議で考えた事を進めます。



全員で自己紹介をしてお互いを知ります。



参加者全員がしっかり発言します。

Minicity-SAGAMI



まちについてのワークショップで意見を集めます。



グループごとの発表。



意見を集めて全員で話し合います。



集まって形にしてい、行動して実現する。

こどもたちが協力し合って
ひとつの小さなまちをつくれます。
まちは、こどもたちの自由な発想で
考えられ、仕組みやまちでの施設を
つくりあげていきます。
まち会議も自分たちの手で
進めます。
こどもたちのチカラは無限大。
大人はこどもたちと協働します。
対等の立場で考えるコトで
はじめて
こどものまちが出来ます。



2017年度こども店長



ミニさがみはらの説明を議員から。



ワークショップの準備は大人もお手伝い。

HARA Proglam



マスコットキャラクターデザイン投票。



ミニさがみはらの紙幣のデザイン投票。



準備から片付けまで。



次回の活動の連絡をして解散します。

前日準備

2017年12月2日(土)13時～19時

会場:相模原市立 男女共同参画推進センター ソレイユさがみ全館



ネイルアートの準備。



看板はすべてこどもたちの手づくり。



看板にはこどもたちの個性が活きる。



プリクラではスマホで撮影から印刷まで行います。

Minicity-SAGAMI



カフェの準備で位置関係を考え中。



ボランティアの学生とのコミュニケーション。



素材はシェア&サンキュー。

公共機関は、すべてブース形式の窓口で整理します。
これは、こども運営委員の先輩たちが考えました。こどものまちはこどものアイデアの歴史です。



銀行は貯金システム運用準備。



ハローワークではカードの整理が大変です。



税務署の待ち時間看板が出来ました。



郵便局では仕事の流れを作成中です。

HARA Proglam



こども運営委員たちの中で高知県のこどものまちへ研修へ行って得たことをつかって、こどもたちが新たな仕組みを初めて取り入れました。今までの働く方法での課題を市民目線で変えたら？ということで、JOBカードのシステムを変えました。今回、より働きやすいように考えたものです。いつもやりたい仕事が見つからない！という課題を解決したい、と思っていた委員が中心につくりあげたシステムです。

前日準備では、こども市長の準備の説明のあとに、全員でそれぞれの部屋の机イス配置を行います。大きなブースや組立の大変なものを学生ボランティアや大人が準備します。配置が終わって、それぞれ担当のお店や施設の看板などの店づくりを始めます。工房では、製作物の準備や最初にお店へ卸す商品の準備をします。販売店では、工房から送られてくる商品の値札などの準備をすすめ、割引券などの他店との連携を進めます。お店の準備が終わり、こども店長が帰った後には、こども運営委員の中学生たちが翌日の本番を前にオープニングとフィナーレなどのリハーサルをします。リハーサル中、中学生がやりやすいように説明スライドの修正をします。

イベント当日

2017年12月3日(日)10時～16時



こども運営委員が司会進行、説明をします。



最初は市長議員立候補者立会演説会があり、そしてまちの代表を選ぶ選挙が行われ、全員で投票します。



カジノは男の子たちに大人気!

Minicity-SAGAMI



工房では、まちで販売するものづくり



郵便局は本格的。



市役所でマスコットキャラ名まえ投票中!



カレーハウスで開店前の準備です。



カフェはスイーツや軽食があります。



大人気のお化け屋敷!

会場：相模原市立 男女共同参画推進センター ソレイユさがみ全館 & 橋本公民館大会議室



やりたい仕事を見つけて、ハローワークは行列で始まります。



なぞなぞボックス！
手探りでグッズをあてよう！



お店もアルバイトの店員が働きます。



ゲームセンターではポッチャと射的！



工房へ郵便局が集配業務。

HARA Proglam



毎年子どもたちに大人気のカレーライスはガリケンさんの特製！
定員以上に準備しても、いつも売切れてしまい
追加の調理もしてくれます。
今年はチャーハンにシフト！

まちの中には忍者がいるよ！
忍者からアイテムを買って
忍者学校への入り口へいこう！



今年のウォークラリーは「忍者学校」！難問を通過すると1万ミドルの賞金が！



フィナーレ

フィナーレでは、選挙結果発表、当選証書授与。
また長者番付表彰や、忍者学校入学者表彰、マスコットキャラクター名付け投票結果が
発表され、全員で記念撮影をして終了しました。



イベント終了後に、参加者全員で記念写真を撮りました。



市長は再選し、翌年度の緑区のこどものまちの舵取りをします。



議員らも再選！市長より当選証書を受け取ります。



長者番付1位はカフェでした。
市長からの
表彰状授与もありました。



緑区のこどものまちのマスコット
キャラクターの名付け投票では
「チッチとピッピ」に決まりました。

なまえを考えたこども市民が
市民全員の前で発表されました。



難関を通った忍者学校入学表彰。
入学金1万ミドルと
表彰状を手に入れました。

Voyage to the future

Minicity-SAGAMIHARA Program

◆こども店長（こども運営委員含む）－ 32 名

小学4年生－ 5名
小学5年生－ 8名
小学6年生－ 16名
中学1年生－ 1名
中学2年生－ 2名

◆こども市民－ 170 名

小学3年生－ 40名
小学4年生－ 48名
小学5年生－ 48名
小学6年生－ 29名
中学1年生－ 4名
中学2年生－ 1名

◆所属小学校

橋本 小学校－ 41名
宮上 小学校－ 39名
旭 小学校－ 16名
当麻田小学校－ 21名
相原 小学校－ 24名
二本松小学校－ 27名
小山 小学校－ 14名
旭 中学校－ 3名
相原 中学校－ 1名
橋本地区外－ 16名（私立小学校含む）

◆性別

女子－ 166名
男子－ 36名

◆スマイル ミニシティ プロジェクト スタッフ

3名

◆NPO 法人サーラ

5名

◆ガリケンデザイン

1名

◆大人ボランティア

1名

◆相模女子大学

2名

◆学生ボランティア

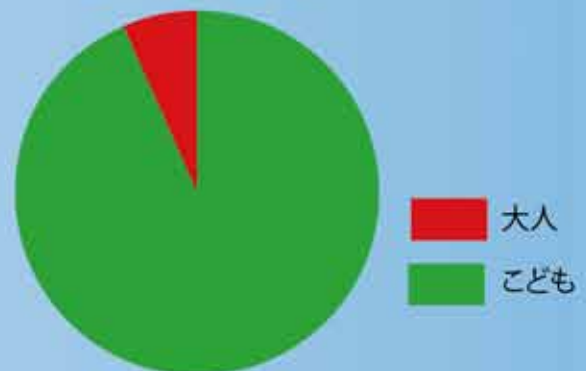
2名

※参加者総数－ 216 名

こども－ 202 名

スタッフ－ 14 名

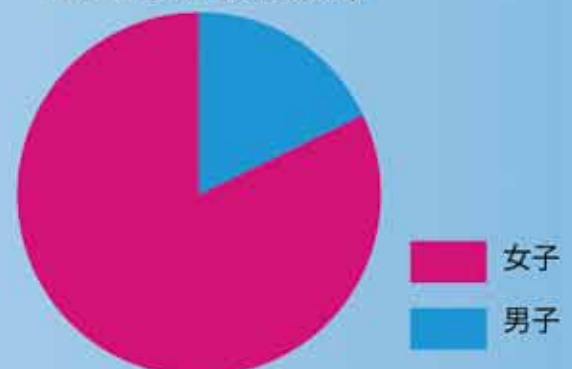
こども大人比率



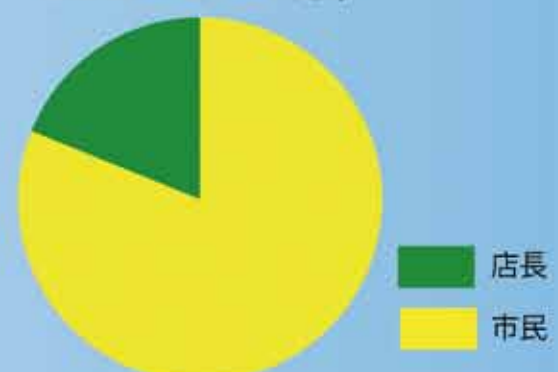
参加者比率



こども参加者男女比率



こどものスタッフ比率





2017年度制定
ミニさがみはらのマスコットキャラクター「チッチとピッピ」

<http://minisagamihara.info/smp/>

著作・発行／スマイル ミニシティ プロジェクト

※本書の無断複写（コピー）は、著作権法上の例外を除き、著作権侵害となります。

活動のための寄付のご協力をお願いします。＊１０００円／冊